

第6学年 授業改善推進プラン

	児童の実態	指導上の課題	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・読書は進んで行う児童が多いが、深く読み取ったり相手が伝えたいことができないことがある。 ・文章を書くことでは、語彙が少なく文章の表現力が乏しい。 ・漢字の定着は児童によって差が大きい。 ・音読は意欲的に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の読み取りや登場人物の心情を読み取る活動を重点的に取り入れる必要がある。 ・読書量に差があるので工夫を要する。 ・漢字学習は配当漢字が多いので何度も繰り返し返して指導しなければならない。 ・辞書を活用し語彙力を豊かにする必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読み取る場面や書く場面を意図的に設定して、友達と交流しながら読んだり書いたりする技を高めしていく。 ・発表の機会を多く持つようにし、読書をしている雰囲気をかもし出し、読書量の少ない児童の刺激とする。 ・漢字テストに工夫を加え、日頃から漢字を使えるようにする。 ・学校図書館を活用し、読んだ本について好きなところを紹介する活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業文集に向けて、長い文を書くことに慣れさせ、構成力、説得力のある文章を書けようさせる。 ・校内研究（言語能力）との関連。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・校外学習に意欲的に取り組む児童が多い。 ・教科書や資料に書いてある事柄を理解し覚えることが難しい児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ情報を受け取っても、処理の仕方がわからず、資料に書かれていることを写すにとどまる児童が少なくない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の見方、考え方が分かるまで繰り返し指導を行う。 ・ノートの取り方を工夫させ、読み取ったり考えたりのしながら自分で言葉を考えながら自分の言葉でまとめさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・移動教室での体験活動。 ・社会科見学（国会、裁判所）。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・計算力に差がある。 ・計算の仕方は理解できているが、文章問題など思考力を要するものに対して消極的で、筋道を立てて考えることが苦手な児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・思考力を必要とする問題に積極的に取り組み筋道を立てて考える力をつける。 ・数や単位をイメージする力をつける。 ・くり上がりやのりたし算・くり下がりのひき算・かけ算九九にいたるまで、基本的な計算を定着させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材・教具を工夫する。 ・児童の習熟度の差に丁寧に応じられるよう、ヒントカードや手立てを考え、少人数指導を十分に生かす。 ・既習事項が視覚的に分かるように、掲示物を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発展問題や補充問題の準備。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・身近に経験している児童は花や虫に興味があるが、そうでない児童は関心が低い。 ・実験や器具を使った観察に意欲をもって取り組む児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた時間内で、知識を定着させるのが難しい。 ・実験や観察をした時、やることだけで終わってしまい、大きな課題を見失うことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題をはっきりさせて、興味をもたせる工夫をし、何を調べるための実験や観察であるかを意識させるようにする。 ・一人一人が主体的に取り組めるように、予想したりまとめたりする時間を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ジャガイモほり
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・体が硬い児童が多い。 ・運動の好きな児童が多い。 ・腕力が不足していて自分の身体がささえられない。 ・持久力が不十分な児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・技能面で苦手意識をもっている児童に対して手立てが必要である。 ・体育の授業だけでは持久力の向上がはかれないので、日常活動で運動量を確保する工夫をしなければならない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・苦手な児童に対しては個別指導を行い、それ以外は、グループ活動を通して、得意な児童が苦手な児童に対してコツを教えるよう指導を工夫する。 ・「逆立ち」「腕立て伏せ」を励行し体を支えられる筋力をつけさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マラソン大会 ・大なわ集会 ・なわとび検定 ・運動会（組体操）
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で自分を律する力が弱い。 ・友達に対して誰にでも優しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の実態を見極め、その時に応じた適切な教材を準備する必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・なるべく身近な問題を教材として取り上げる。 ・考える時間と発表する時間を確保し、一人一人が考えを深められるようにする。 	
特活	<ul style="list-style-type: none"> ・興味のある内容に対しては大変意欲的である。 ・まとめ役を意欲的に行う児童とそうでない児童の差が大きい。 ・光っ子活動を楽しみにしている児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校は行事が多く、児童が少ないので、全員の児童が達成感が持てるように指導の工夫をする。 ・6年生として、さまざまな場面で集団をリードする経験を積ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業式を「笑顔」で迎えられるように、すべての活動に全力を出し切れるように支援する。 ・1回1回の活動の準備・実行・振り返りをしっかりと行う。 	
総合	<ul style="list-style-type: none"> ・体験学習は意欲的だが、見通しをもって計画的に調べたりまとめたりする力が弱い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を明確にし、イメージがうまく広がるような資料を準備するなど計画的な授業を組み立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験活動を生かしたり、ゲストティーチャーを活用したりする。 	
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ・英語活動に関しては、楽しみにしているがあまり積極的ではない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の課題を明確にして、授業に取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全員で楽しく取り組めるように歌やチャンツやゲームをたくさん取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・JETの活用、連携。